

すぎはら ちうね 杉原千畝と リトアニア

リトアニア大使館オーレリウス・ジーカス特命全権大使と二人の研究者をお招きして、第二次世界大戦下のリトアニアでユダヤ人難民に「命のビザ」を発給した外交官、杉原千畝について日本語で講演を行っていただきます。

外務省外交史料館蔵



日時 2023年
6月27日(火) 開場/16:30
開会/17:00

会場 下呂交流会館 マルチスタジオ { 入場無料 }

要予約 予約開始 6月15日(木) 9:00~

お申込み お問合せ 一般財団法人 下呂ふるさと文化財団(下呂交流会館内)
TEL0576-25-5000

岐阜県出身の杉原千畝(1900~1986年)は、第二次世界大戦中の1940年夏、リトアニアのカウナスにある日本領事館の副領事として、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ難民に、人道的な見地からビザを発給した。杉原の発給した「命のビザ」によって、約6,000人のユダヤ人がホロコーストから命を救われたといわれている。

杉原幸子『六千人の命のビザ』(大正出版、1993年)



リトアニアは、欧州のバルト海沿岸に並ぶ旧ソビエト圏のバルト三国の中で最も南にある国で、ポーランド、ラトビア、ベラルーシと国境を接しています。ベラルーシとの国境に近い首都ヴィリニユスは中世の旧市街で知られ、ゴシック様式、ルネッサンス様式、バロック様式の建築物や18世紀の大聖堂を見ることができます。



リトアニアと日本

杉原千畝を介した友好の歩みと現状

オーレリウス・ジーカス氏
Aurelijus Zykas

駐日リトアニア特命全権大使

リトアニアで日本語研究の第一人者とされる若手の研究者。同国第二の都市カウナス生まれ。高校生の時に漢字に興味を抱き、日本語の勉強を始めた。金沢大、早稲田大に留学し、帰国後は地元の大学で日本語教育や日本文化の普及に携わった。2007年の天皇、皇后両陛下(現在の上皇ご夫妻)のリトアニア訪問時は通訳を務めた。



カウナスと杉原千畝

戦間期のリトアニアと日本

リナス・デイドヴァリス氏
Linas Didvalis

リトアニア生まれ(38歳) ヴィタウタス・マグヌス大学(カウナス)外交政治学部卒 国際基督教大学(東京)大学院博士課程修了(法学博士)
現職: ヴィタウタス・マグヌス大学東アジアセンター長
専門: 東アジア政治史、日本・リトアニア関係史、環境保護問題



杉原だけでは難民を救えない

リトアニアの貢献

稲葉 千晴氏
いなば ちはる

栃木県生まれ(65歳) 早稲田大学大学院文学研究科修了、法学博士(名城大学)
現職: 名城大学都市情報学部教授
専門: 国際関係論、日露関係史、東欧・北欧・ロシア史

◆主催/一般財団法人下呂ふるさと文化財団・下呂市